

カワモズク科

チャイロカワモズク

Batrachospermum arcuatum Kylin emend. Vis et al.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… NT

■ 県内分布

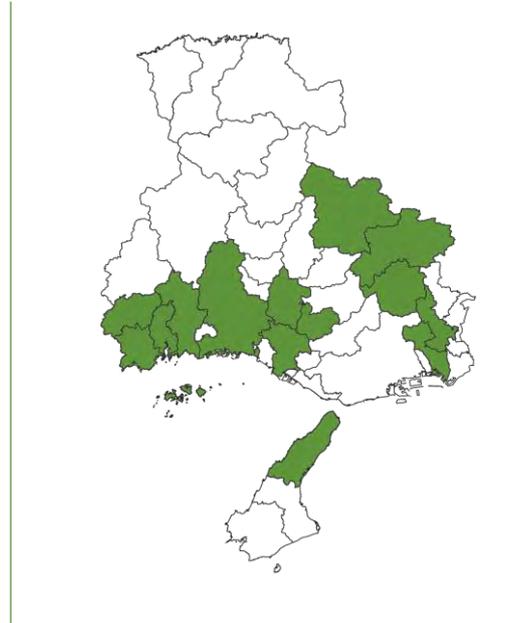
西宮市、宝塚市、三田市、加古川市、小野市、加西市、姫路市、相生市、赤穂市、たつの市、上郡町、丹波篠山市、丹波市、淡路市

■ 国内分布

北海道、東京都、茨城県、福井県、大阪府、兵庫県、香川県、愛媛県、沖縄県等

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

生育地には湧水が見られる。相生市、赤穂市、加古川市、西宮市で新たに確認された。2020年版でBランクからCランクに変更した。



写真提供: 佐藤裕司

■ 保護上の留意点

湧水の保全に留意する必要がある。

■ 種の概要

藻体(配偶体)は茶褐色、粘質でヌルヌルする。よく分枝し、太さ0.7-1.5mm、長さ2-12cm。外見上はカワモズクとの区別が難しいが、本種は先端部までよく分枝する。雌雄異株。顕微鏡で見たとき、雌株では1~3個の果孢子体が輪生枝叢の縁に散在し、棍棒形の受精毛が観察される。平地の湧泉やそれを利用する農業用水路のコンクリート壁や石等に着生。晩秋から早春の時期にみられる。